

平成26年度採択 自動外観検査とトレーサビリティの活用による 鋳鉄部品の革新的品質保証システムの開発

株式会社浅田可鍛鋳鉄所（京都府）主たる技術：立体造形技術

- 鋳鉄(黒皮)部品/全自動外観検査装置開発（カメラ+メカ検査による欠陥検出）
- 川下企業(カーメーカ等)へのトレーサビリティを確保した製品(鋳鉄部品)の納入
- 検査員(目視)の緊張注視連續単純作業からの開放

研究開発の成果

■高信頼性/高速全自動外観自動検査装置システム開発

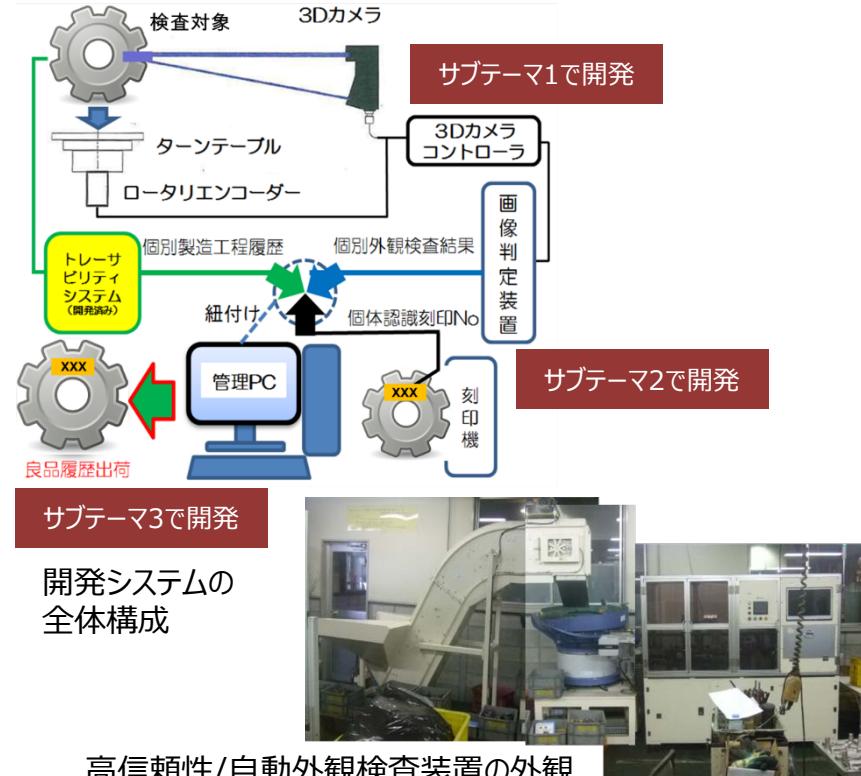
- ・3次元CCDカメラとそれを補完する検査ゲージによる
メカニカル検査法の併用
 - * 不良品見逃し：0件
 - * システムのタクトタイム：6秒以下

■個体識別の刻印システム開発

- ・検査結果と連動する刻印装置により製品に検査結果
を刻印

■トレーサビリティシステム・不良解析ソフト開発

- ・外観検査結果(刻印No)と製造条件を紐付けするシス
テム開発
- ・検査結果が不良低減の有力なツールに



研究体制

一般財団法人素形材センター

株式会社浅田可鍛鋳鉄所(法認定中小企業)
学校法人甲南学園甲南大学(大学)

当該研究開発の連絡窓口

所属：(一財)素形材センター 金属材料技術部

E-mail : kinzoku@sokeizai.or.jp

電話番号：03-3434-3907